

# 成熟児核黄疸の運動障害

横地健治

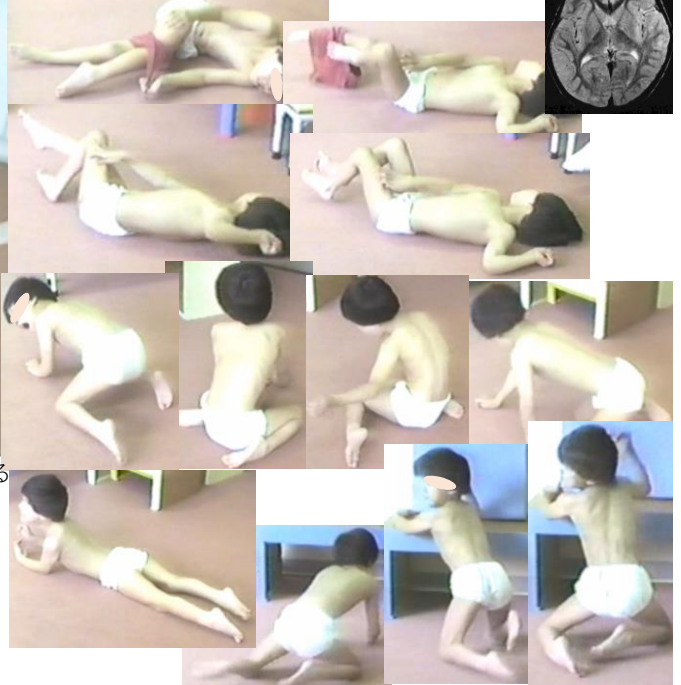
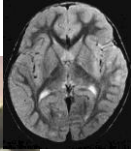
1



2



血液型不適合による高ビリルビン血症 座位まで 軽度ID



- ・股屈曲あるが、伸展への変換は速く、完全に伸展する
  - ・手の前出し困難があるが強くない
  - ・to and froは多い
- これらは中脳無動性アトーゼに似る

- ・股屈曲過活動
- ・股伸展荷重制限
- ・共収縮制御障害
- ・中脳性運動発動障害

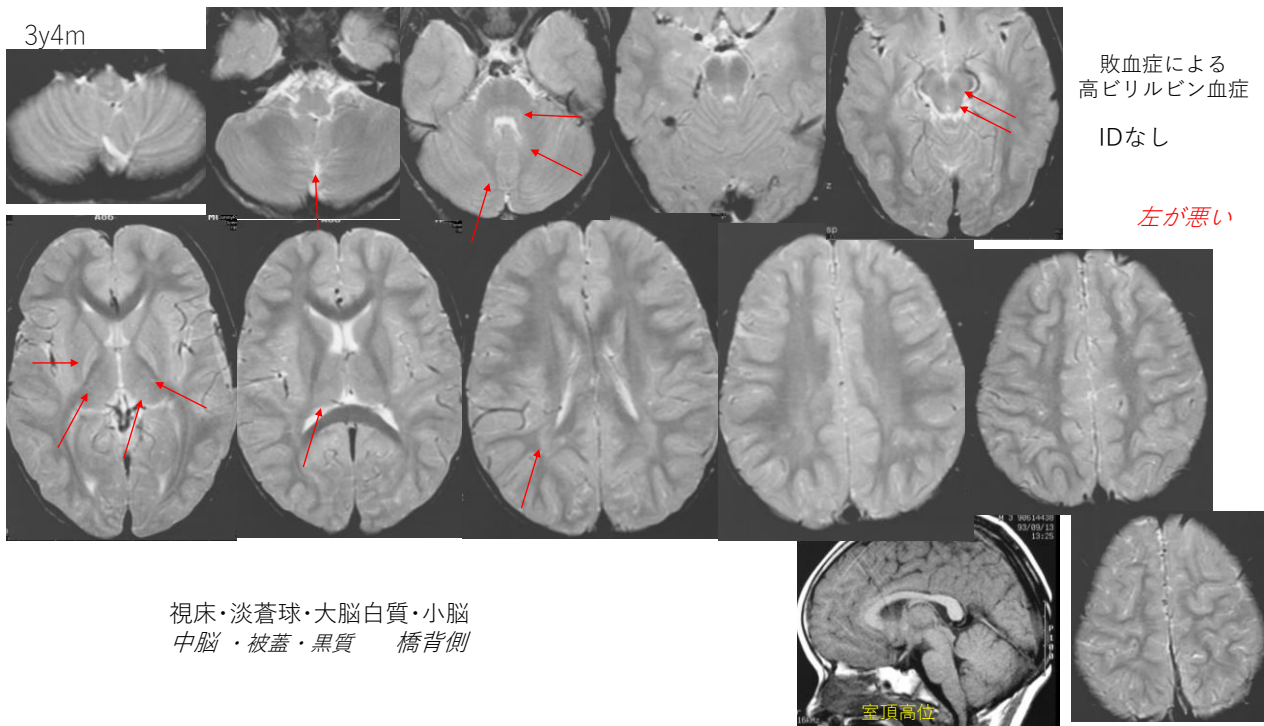
3



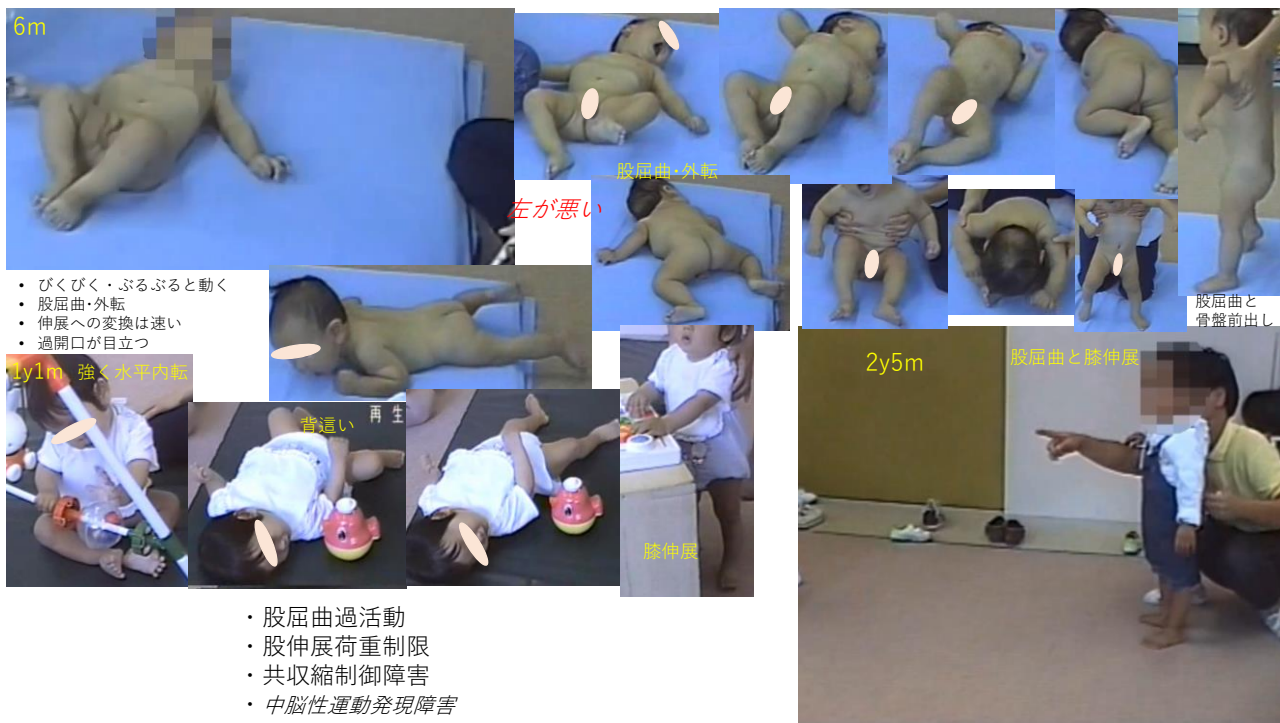
- ・股屈曲過活動
- ・股伸展荷重制限
- ・共収縮制御障害
- ・中脳性運動発現障害

4





5



6



左が悪い

- ・ 頸部過剰屈曲（虚脱位か）と伸展ロックの共存
- ・ 過剰に力が入った手動作
- ・ 過大で速い肩運動→到達の錯誤
- ・ 手元を注視できない

- ・ 立脚時、股過屈曲
- ・ 頸部の伸展・回旋ロックと速い回旋
- ・ 過開口
- ・ 上肢の固定位  
自然なarm swingはない

- ・ 股屈曲過活動
- ・ 股伸展荷重制限
- ・ 共収縮制御障害
- ・ 中脳性運動発現障害

- ・ 重度の構音障害  
→ジェスチャー多用  
→トーキングエイド®常用
- ・ 頸部の過剰伸展回旋
- ・ 過開口



7

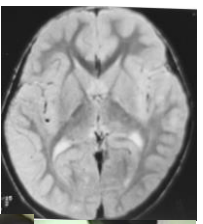


1y6m

・ 原因不明の高ビリルビン血症 ・ IDなし



過開口



座位から跳びだし



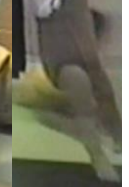
両手肩水平内転



右肩 to and fro



強い骨盤前出し  
体幹後傾



骨盤座布団状態  
両手ぶら下げ

右が悪い

- ・ 股屈曲過活動
- ・ 股伸展荷重制限
- ・ 共収縮制御障害

8





- ・股屈曲強い
- ・右立脚股伸展が悪い→尻餅

右肘屈

対抗困難な強い股屈曲過活動  
→共収縮制御障害



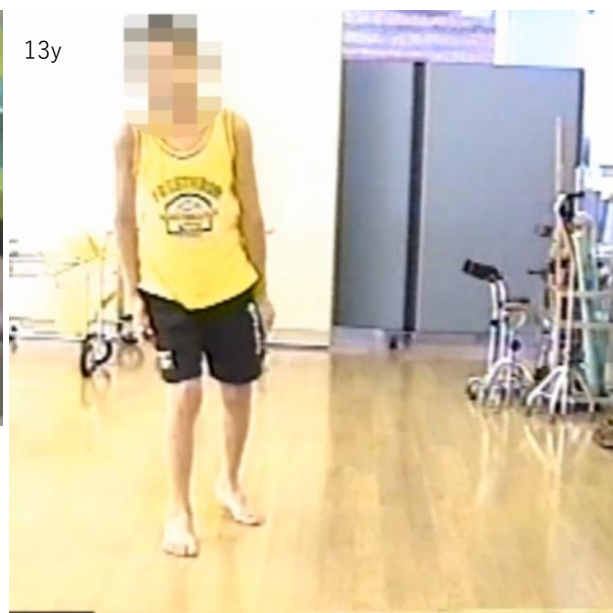
尻餅座り



9



13y



顎固定位  
片眼周辺視



強い両肩水平内転

肩内転屈曲  
前腕回外  
手背屈位の固定  
核黄疸の手

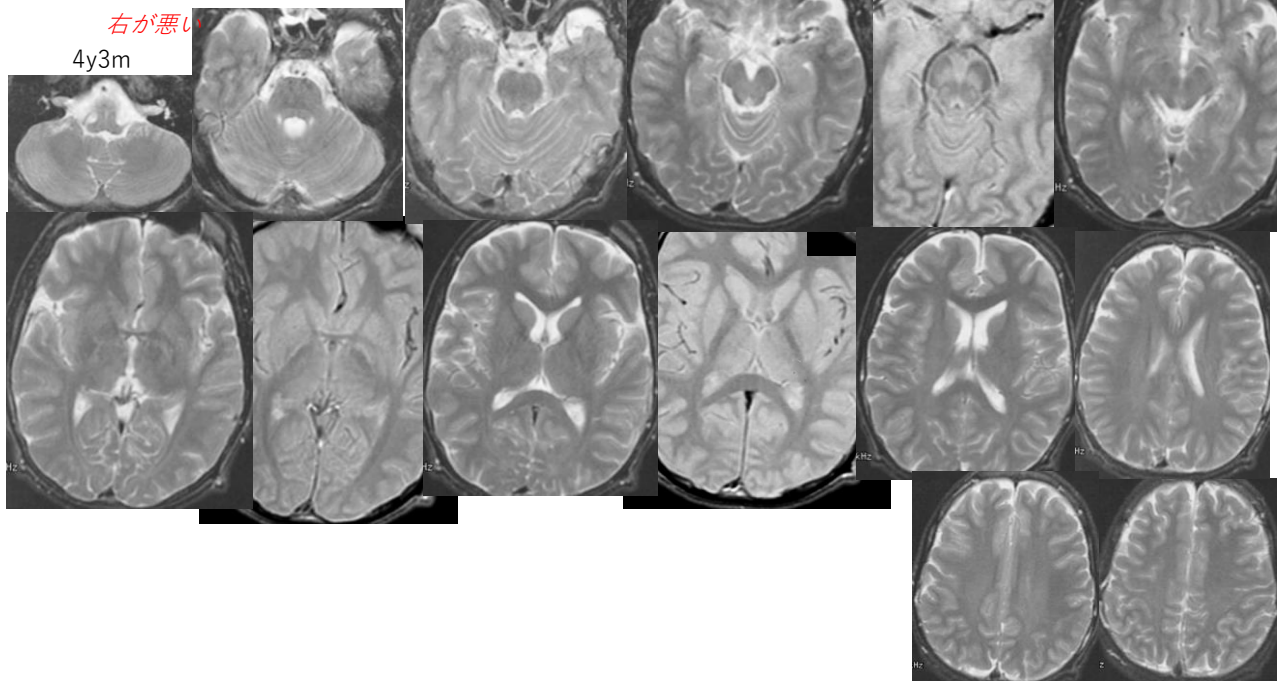
体幹回旋  
側方手使い

- ・構音障害は重度・口顎運動は過度で固定する
- ・強い股屈曲・肩水平内転は緩む

関節可動域の極位をとりやすいのは中脳性運動発現障害

10

座位まで 重度ID ABR無反応 聴性行動はあり



11



12





13



・ 股屈曲過活動 ・ 股伸展荷重制限 ・ 共収縮制御障害 ・ 中脳性運動発現障害

14



15



- ・ 静止しない *athetosis*
- ・ 上肢は空中保持するが使えない  
*Catalepsy-like*
- ・ 非対称な過開口
- ・ 足を手のように使う
- ・ 前足部荷重に伴う引っ込み  
avoiding reaction  
*Athetoid "dance on hot bricks"*

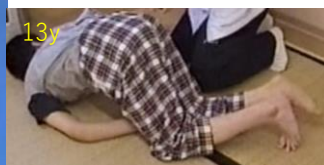
・ 股屈曲過活動 ・ 股伸展荷重制限 ・ 共収縮制御障害 ・ 中脳性運動発現障害

16





- ・股屈曲過活動 ・股伸展荷重制限
- ・共収縮制御障害 ・中脳性運動発現障害



17

# 日本神経学会教育ビデオ



脳性麻痺・アテトーゼの中核は核黄疸であろう

18